

# 研究開発／知的財産戦略

## 研究開発総経理執行役員メッセージ

中期経営計画においては、独創と共創を両輪として本邦嚆矢のDNAで新たな価値創造に取り組んでおりますが、そこに向け、研究開発に求められている役割は大きいものがあります。共創については、戦略的な特許出願・ライセンス取得、企業間、大学等との戦略的パートナーシップの構築を推進することで、多角的かつ早期の事業化に繋げてまいります。また、研究開発のスピードアップや効率化の観点から、研究開発のデジタルトランスフォーメーション（DX）化に取り組み、より一層の迅速化に寄与してまいります。独創についても、例えば当社色素技術や有機ELで培った技術をベースとして核酸医薬や半導体材料といった新たな事業へ積極的に取り組んでまいります。そして、このような取り組みから、収穫の2年に繋げ、非連続な成長を達成してまいります。

取締役 兼 常務執行役員 横山 紀昌

## 「コード2030」における基本戦略

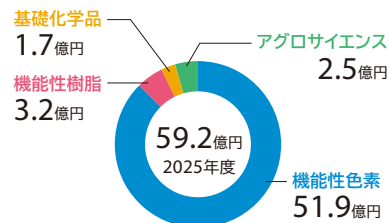
- 共創の推進**：“時間を買う”戦略の実行加速（M&A・提携、外部研究機関との共創、特許戦略等）
- 独創的技術による新規事業領域への展開**：核酸医薬CDMO事業、半導体材料事業など
- 三位一体の推進強化**：研究開発・生産・営業の連携強化による価値創出の加速

## 中期経営計画における研究開発／知的財産に関する施策

### 研究開発投資

保土谷化学グループは、国内拠点の筑波研究所を中心に、各工場の開発部および韓国のグループ会社が連携することで、グローバルな研究開発体制の下、最先端の研究開発を進めています。2030年に向けては、有機ELを中心として培った独自の技術・ノウハウを背景に、機能性色素セグメント（高機能色素、オリゴ核酸医薬、半導体）を中心とした投資を進めていきます。さら

### 研究開発投資額（セグメント別）



### 関連するマテリアリティ

- 技術優位の維持
- 地球環境の保全
- 次世代の基盤技術の構築、新規事業の創出
- 製品の価値および信頼性の向上

に、従来の事業の発展に留まらない、非連続的かつ多角的な新規事業・新製品の創出を目的に、共創に取り組んでいきます。

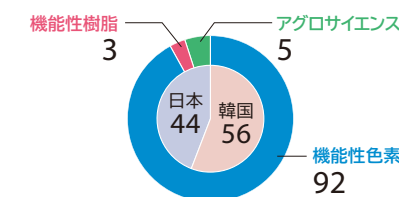
数値目標の達成状況は、こちらのページでご確認ください。  
非財務ハイライト ▶P.48

状況の詳細はホームページをご覧ください  
<https://www.hodogaya.co.jp/rd/rd-system/>

### 特許出願の現状

保土谷化学グループは、韓国での開発体制構築を重視することで、研究開発投資額や日本国内への特許出願件数の比率における韓国側の占める割合が大きくなっています。また、有機ELを中心とした戦略的かつ迅速な特許出願に取り組んだことで、機能性色素セグメントの占める割合が大きくなっています。

### 2023年度～2025年度の特許出願件数比率（%）（国別・セグメント別）



## 知的財産戦略

「権利化を念頭に置いて研究・開発を行うことが重要」との理念を研究員と共有しながら、将来の事業ポートフォリオも考慮し、研究開発成果の迅速な出願と権利化を推進しています。

また、情報検索、特許解析、知財教育等による特許の質の向上にも注力しており、日経ビジネスの知財経営ランキングにおいて、2023年と2025年に、連続して特許価値成長力ランキングに掲載されました。今後は、非連続的かつ多角的な新規事業・新製品の創出に寄与すべく、戦略的な特許出願・ライセンス取得やDXにも注力していきます。

### 事業戦略のロードマップ



関連するグループ会社：  
**保土谷コントラクトラボ株式会社**  
事業内容：化学品の分析および研究開発業務受託

所在地：〒305-0841 茨城県つくば市御幸が丘45番地  
TEL 029-858-6886（代表）  
ホームページ：<http://www.h-contractlabo.co.jp/>